

2. 競技前のスチュワード業務/ハインドブーツチェック

もし選手が競技期間中使用するブーツが許可されているものか確信が持てない場合、トレーニングまたは競技で使用する前に選手またはその代理人がそのブーツをチーフスチュワードに見せて意見を求めなければならない。

次に示す改訂された手順については2022年9月12日より実施する。この手順を以てブーツ&バンデージコントロールが必須とされている競技(JRs第241条1)において選手の走行後に行われるブーツ&バンデージコントロールの代わりとはならない。

以下の手順は、ブーツ&バンデージコントロールが義務付けられている競技、すなわちネーションズカップ、グランプリ、ピュイサンス、六段飛越および賞金が最も高い競技では必須であり、それ以外の競技ではチーフスチュワードの裁量による。

ハインドブーツチェックが行われる競技においては、競技アリーナに入場する以前であればいつでも選手が希望する時点で、全ての後肢ブーツは現行の競技規程(第257条2.4)に適合しているかハインドブーツチェックを担当するスチュワードによって検査されなければならない。後肢のブーツを交換する場合、担当するスチュワードは取り外したブーツと使用するブーツの両方を検査する。この手順を終えてから後肢ブーツを馬の肢に装着することができ、装着したら馬を前方に歩かせなければならない。馬が後退した場合、スチュワードはブーツを外して再度装着し直すよう指示することができる。ブーツの代わりに肢巻を使用した場合、選手は競技前の準備運動場で肢巻を外すよう求められることはない。

上記で示された時点において実施することが特に困難な馬の場合、選手またはその代理人は、より静かな場所または厩舎において実施するよう求めることができる。(この手順を採用する場合は、下記を参照のこと**)

ハインドブーツ担当スチュワードはブーツを締めすぎまたは位置が正しくないと考えられる場合は介入する権限を有し、ブーツを外して正しく装着し直すよう指示することができる。[ブーツを装着した後で数歩の間は馬の歩様に多少の影響が現れるのは必ずしも珍しいことではないことにスチュワードは留意すること。]もし選手またはその代理人が、スチュワードの指示に従わず外して付け直すことを拒否した場合は、当該選手に対してチーフスチュワードからイエロー警告カードが発行されることがある。

興奮しているまたは神経質な馬で、競技アリーナ入場前にブーツを外すことが不可能もしくは危険であると判断された場合は、その選手の走行後に当該馬の競技アリーナからの退場に際してブーツを外してスチュワードの検査を受けなければならない。当該競技においてブーツ&バンデージコントロールが実施されている場合、この検査はブーツ&バンデージコントロールの際に行うことができる。

ハインドブーツを含み、正しい馬装を使用することの最終的な責任は、馬管理責任者 Person Responsible が負うものとする。

ハインドブーツチェックが実施されていない競技において、準備運動中にブーツが換えられた場合、外された時点でその外されたブーツと、可能な限り当該馬の競技アリーナ入場前に新しく交換されたブーツをスチュワードは検査することができる。もし馬がハインドブーツの下に肢巻もしくは軽量のバンデージ類またはソックスを装着している場合、競技出場前にスチュワードの前で装着したのでなければ、その馬の競技出場後に検査を行う。スチュワードはブーツと／あるいはバンデージ類にいかなる物でも異常を認めた場合には、直ちにチーフスチュワードに報告しなければならない。

ハインドブーツチェックが厩舎で行われた場合、その馬がハインドブーツ担当スチュワードの監視下にある準備運動場に到着するまでの間、スチュワードまたはその他の役員はその馬についていなければならない。

もし馬が競技出場前ハインドブーツチェック後に、いかなる理由であっても準備運動場を離れる場合は、再度ハインドブーツチェックの手順を繰り返さなければならない。

(原文は英語／和訳とのニュアンスが異なる場合には英語が優先される)